



内閣府

令和 元年 7月 12日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

入札監視委員会の審議概要について

記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(令和元年度第1回)が、令和元年6月11日(火)に沖縄総合事務局において開催されました。

審議内容は別紙のとおりです。

令和 元年 7月12日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 牛丸 宏

契約管理係長 平良 義弘

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(令和元年度第1回) 審議概要

開催日及び場所	令和元年6月11日(火) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室		
委員	委員長 小倉 暢之 (琉球大学名誉教授) 委員 井上 むつき (税理士) 委員 田村 ゆかり (弁護士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 中村 真也 (琉球大学農学部教授) (委員は50音順:敬称略)		
審議対象期間	平成31年1月1日～平成31年3月31日		
抽出案件	総件数 5 件	(備考)	
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
	一般競争	1 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	1 件	
建設コンサルタント業務等	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等	1 件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	
抽出事案	
1 工事 ◆ 那覇空港滑走路増設1工区舗装等工事 ○ 1位と2位の業者の技術提案の差について、何が評価された差だったのか。 ○ 施工時の品質確保のための工夫について、どのようなポイントで差がついたのか。 ◆ 平成30年度恩納南BP1号橋上部工(下り)工事 ○ 加算点の評価期間について、工事成績や低入札など、過去何年間とあるが、これらは決められているものなのか又は工事ごとに決めているものなのか。 ◆ 宮古島訓練施設(H30)建築工事 ○ 随意契約をした理由で2回一般競争入札が不調となっているが、この工事に参加者がいない理由は何か。	 ・ 技術提案は、品質確保の工夫と安全対策について求めている。本件では、安全対策の面で差がついた。 ・ 施工時の品質確保のための工夫ということで、情報化施工か一般的工夫かで差がついた。 ・ 基本的にはマニュアルで決められており、同じ工事種別ごとに統一されている。 ・ 宮古島では建設業が活況となっているため、技術者の確保が難しくなっていることが、大きな要因と考えられる。
2 建設コンサルタント業務等 ◆ 竹富南航路周辺環境影響調査業務 ○ 参加資格対象業者数が多数社あるが、1社しか応れなかった理由は何か。 ◆ H30-34 国営沖縄記念公園運営維持管理業務 ○ 前回の入札で落札した業者しか今回も応れしていないが理由は何か。 ○ 業務が多岐にわたっているのであれば、業務内容を分割するなど、他の方法はないのか。	 ・ 入札関係資料を取得した業者に確認したところ、該当する技術者が配置できないためと確認している。 ・ 国営公園として一体として業務を行う必要があり、業務も多岐にわたるため、難しいところがあると考えられる。 ・ 国営公園の運営管理業務は、公共サービス改革基本方針に則って行っているところ。全体をマネジメントする中で、企画立案から、施設管理や植物管理まで、一体となって運営されることが妥当と考える。